

## 1.はじめに

1-1.USB-RS232C 変換基板を接続する前に、本ドライバーのインストール作業を行ってください。

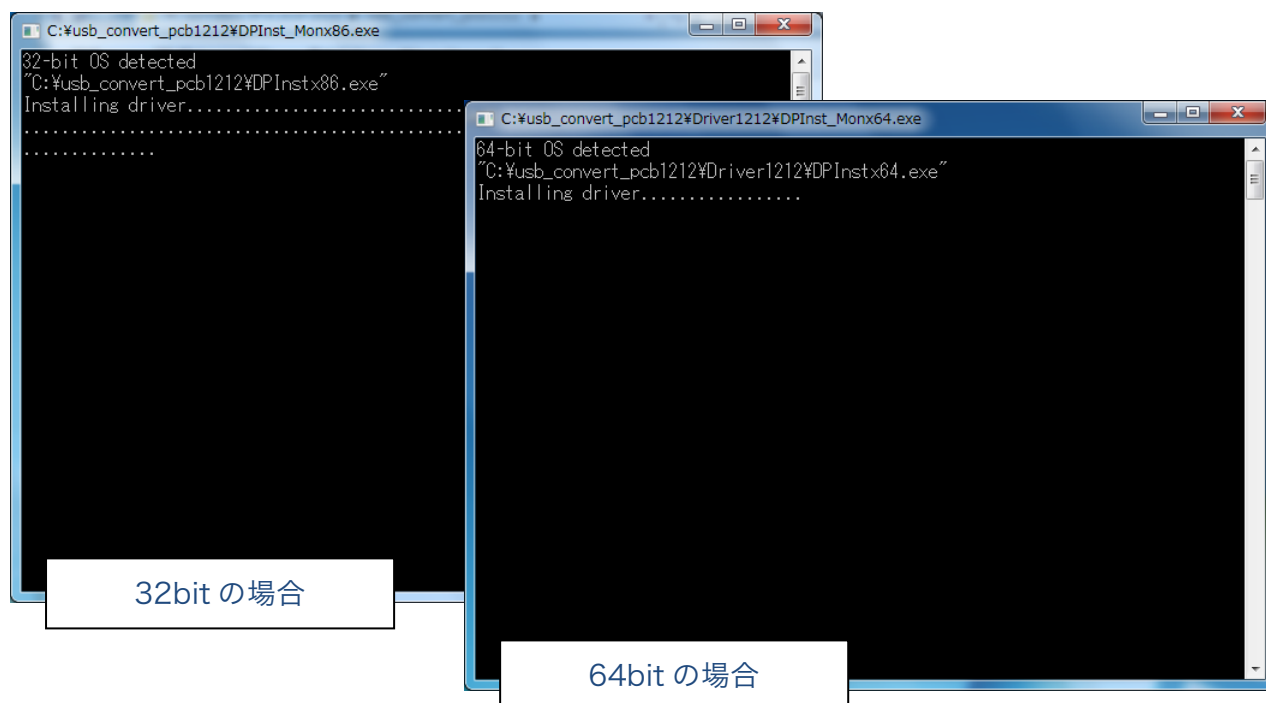
1-2.古いドライバーが既にインストールされている場合、必ず古いドライバーを削除してから本ドライバーのインストール作業を行ってください。

## 2.Windows7 へのインストール

2-1."usb\_convert\_pcb1212"フォルダ内の"USB\_Driver\_Installer"(バッチファイル)を実行してください。

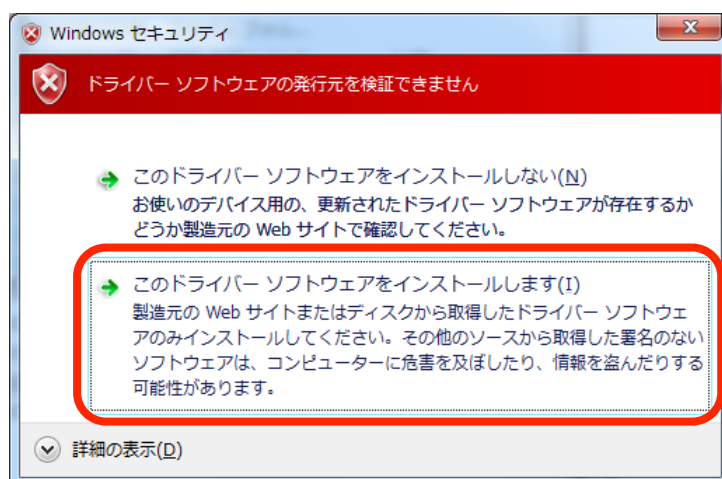
# ご利用環境が 32bit か 64bit かを判別し、適したドライバーをインストールします。

2-2.インストールが開始されると以下のようなコマンドプロンプト画面が表示されます。



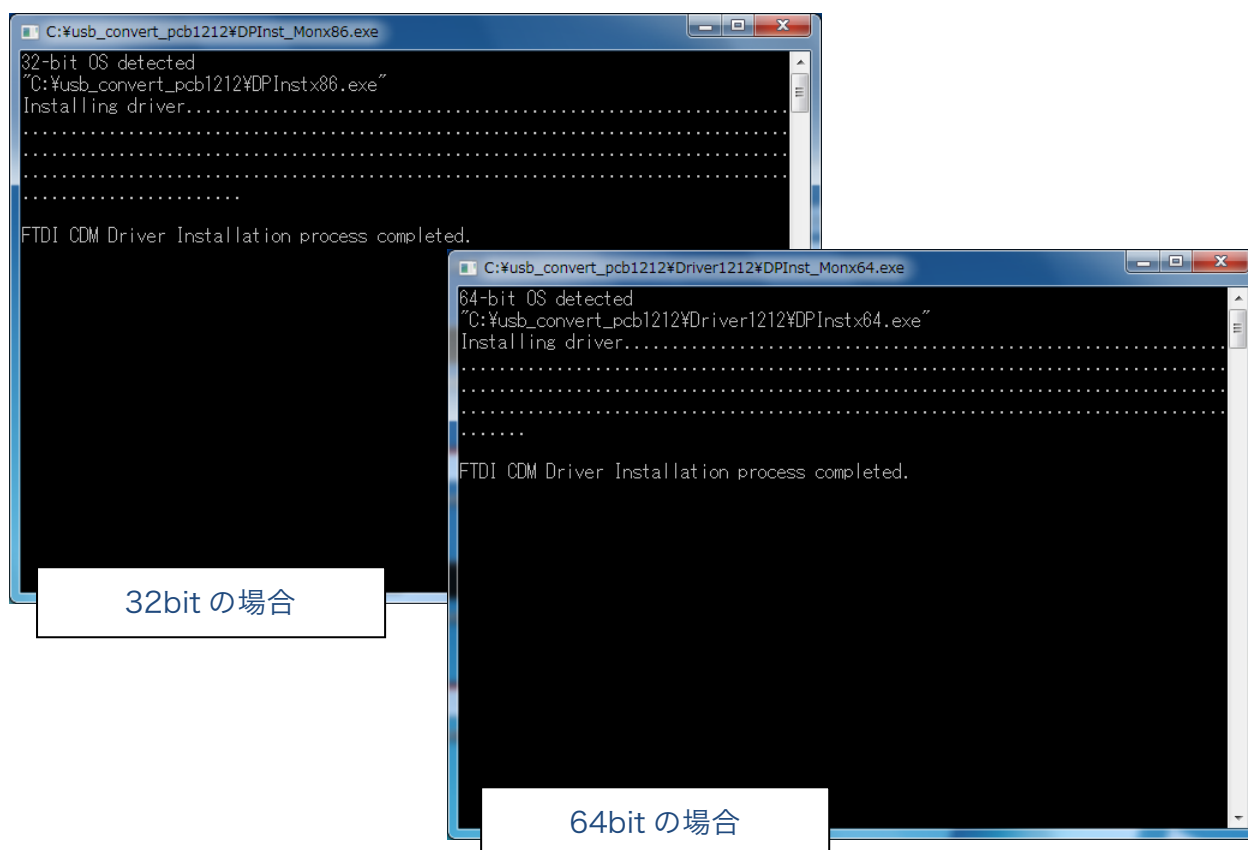
2-3.インストール中に Windows セキュリティ確認画面が 2 回表示されます。

このとき、“このドライバーソフトウェアをインストールします”を選択します。

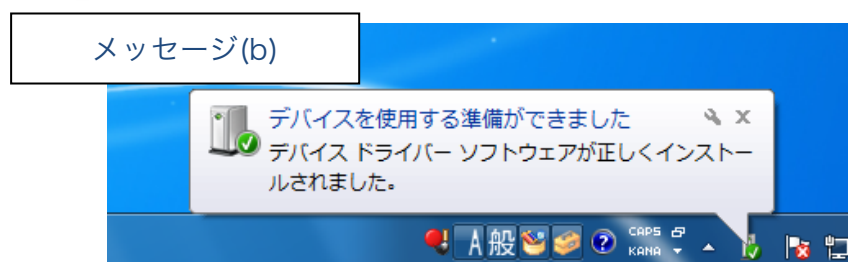
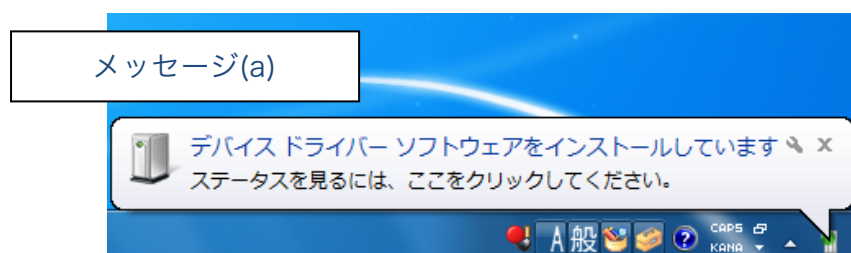


2-4.インストールが終了すると以下のようなコマンドプロンプト画面が数秒間表示されます。

(コマンドプロンプト画面は数秒後、自動的に閉じます)



2-5.USB-RS232C 変換基板を接続するとデスクトップ右下に(a)のメッセージが表示され、しばらくすると(b)のメッセージが表示されます。(b)のメッセージが表示されれば、ドライバーインストールは成功です。

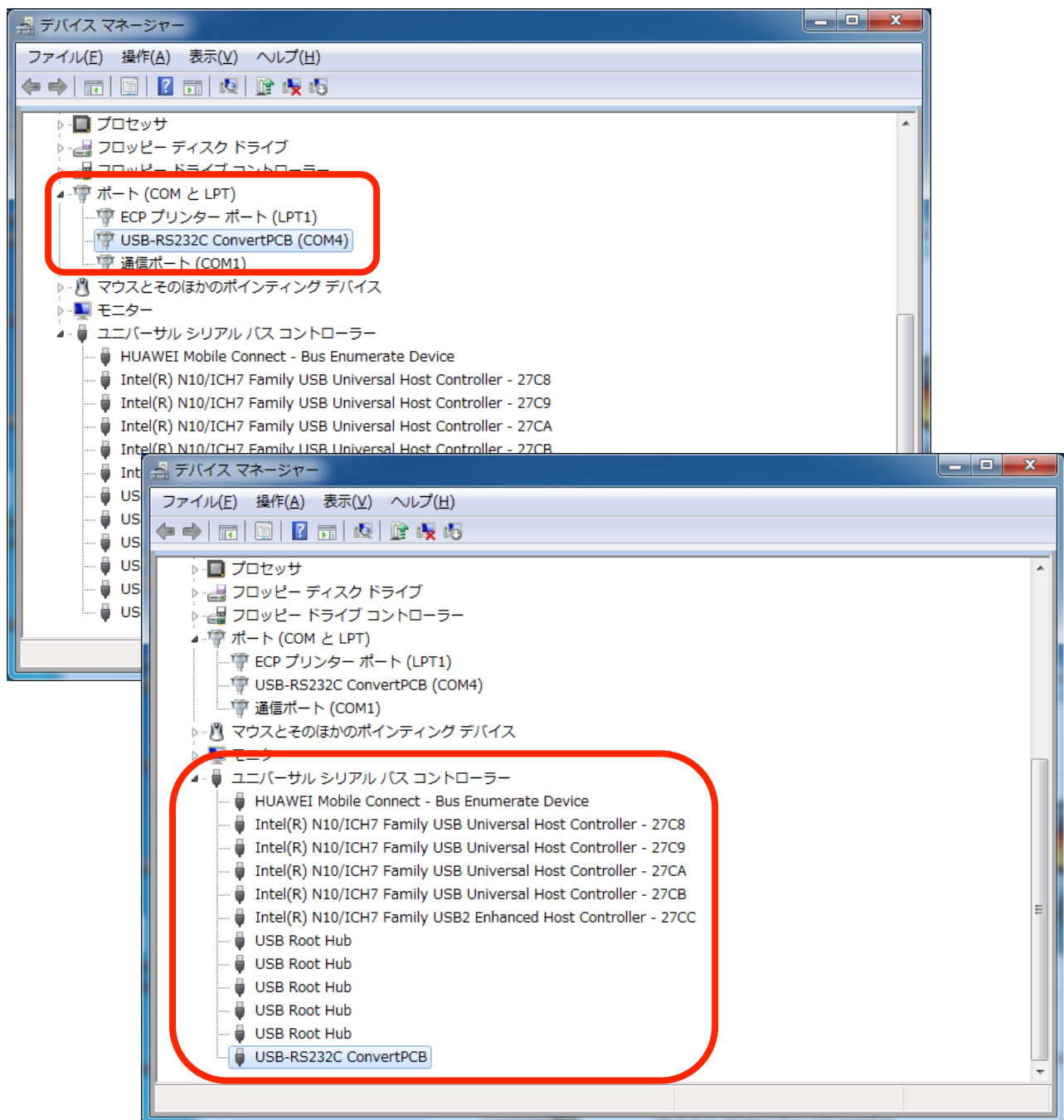


## 2-6.インストール完了の確認

デバイスマネージャーを開き、

- 1)、“ポート (COM と LPT)” に USB-RS232C ConvertPCB(COMxx)
- 2)、“ユニバーサル シリアル バス コントローラー” に USB-RS232C ConvertPCB

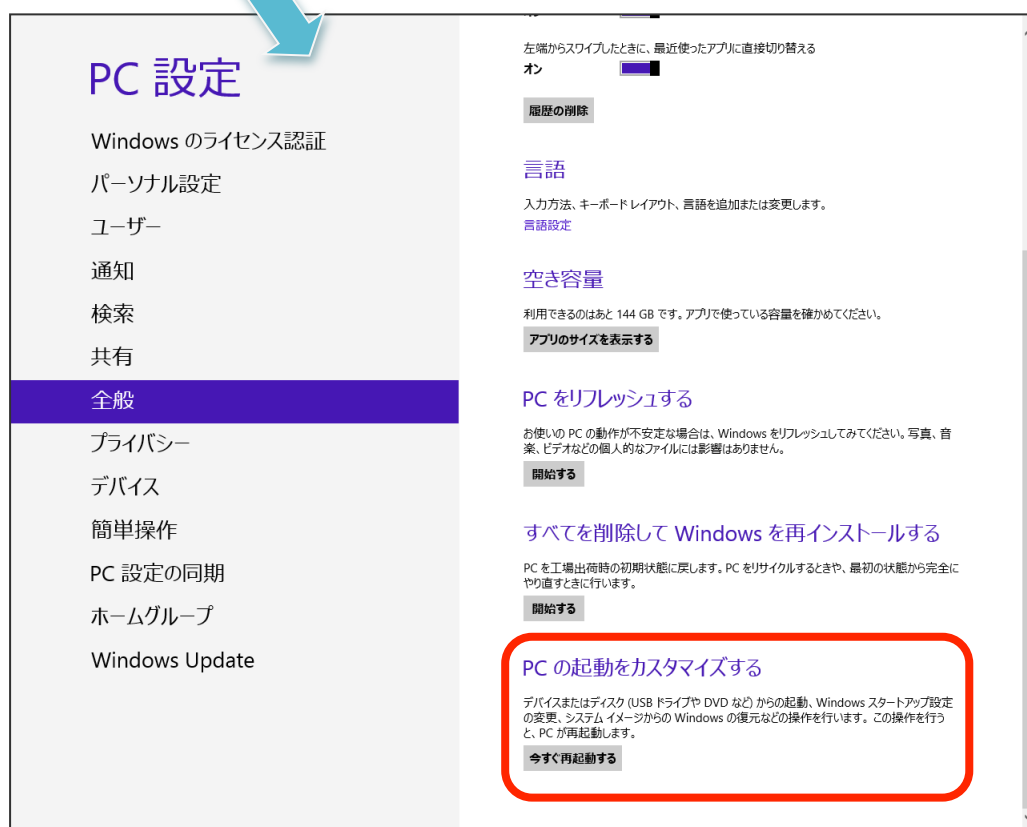
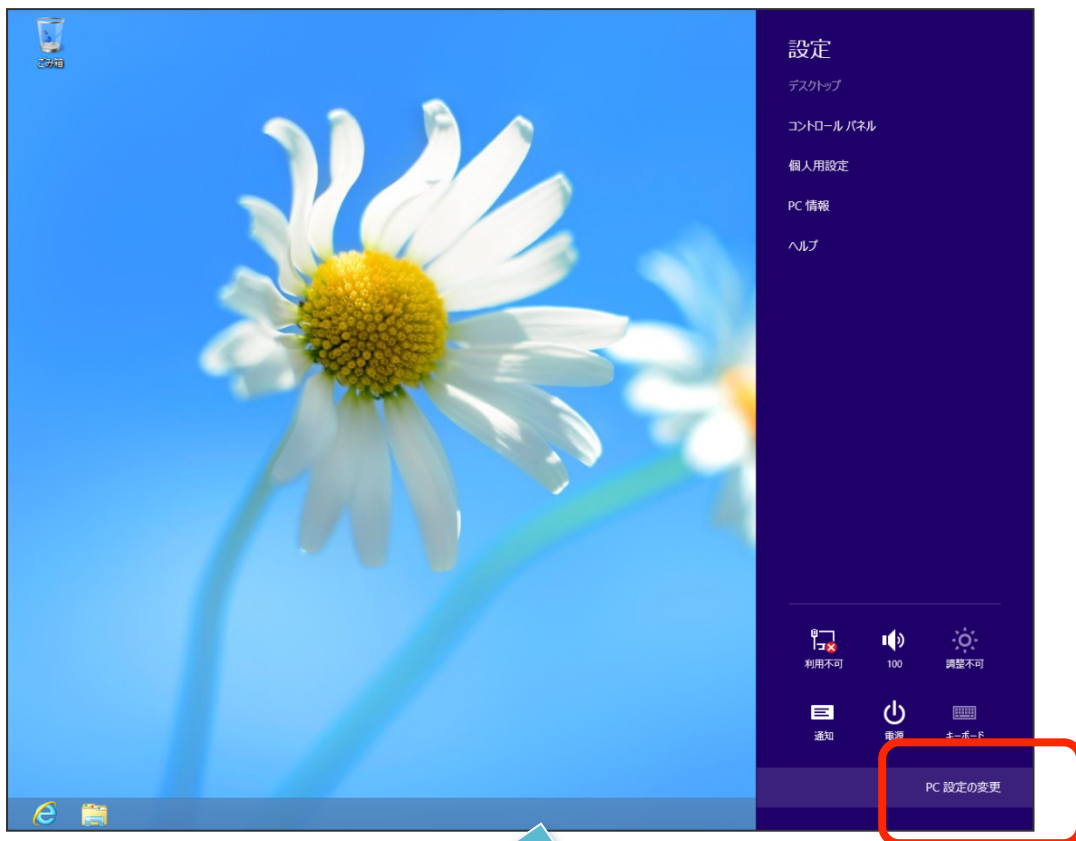
※xx の部分は COM ポート番号(お使いの環境によって変わります)  
が追加されていればインストール完了です。



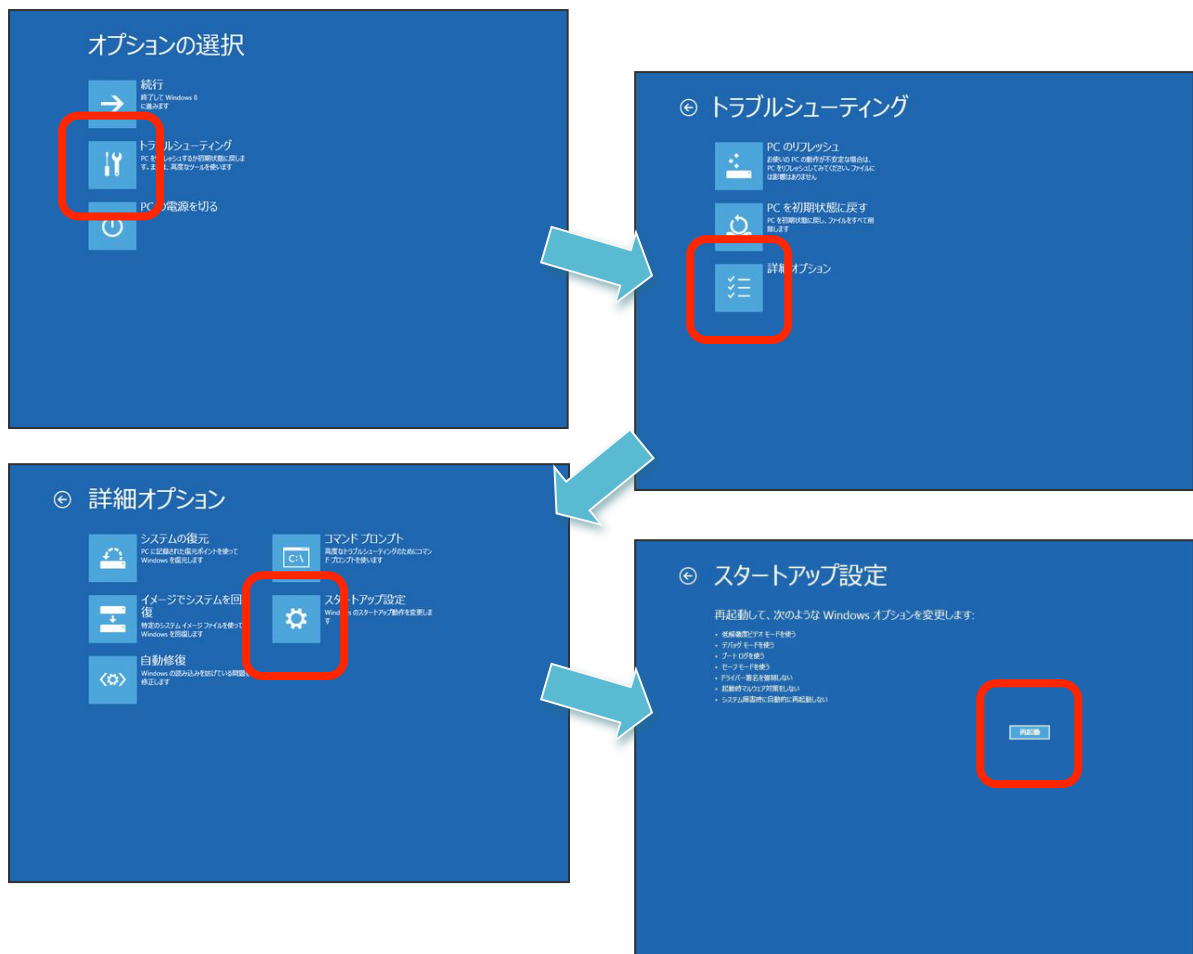
### 3.Windows8 へのインストール

3-1.ドライバーインストール前に「ドライバー署名の強制」の無効化を行います。

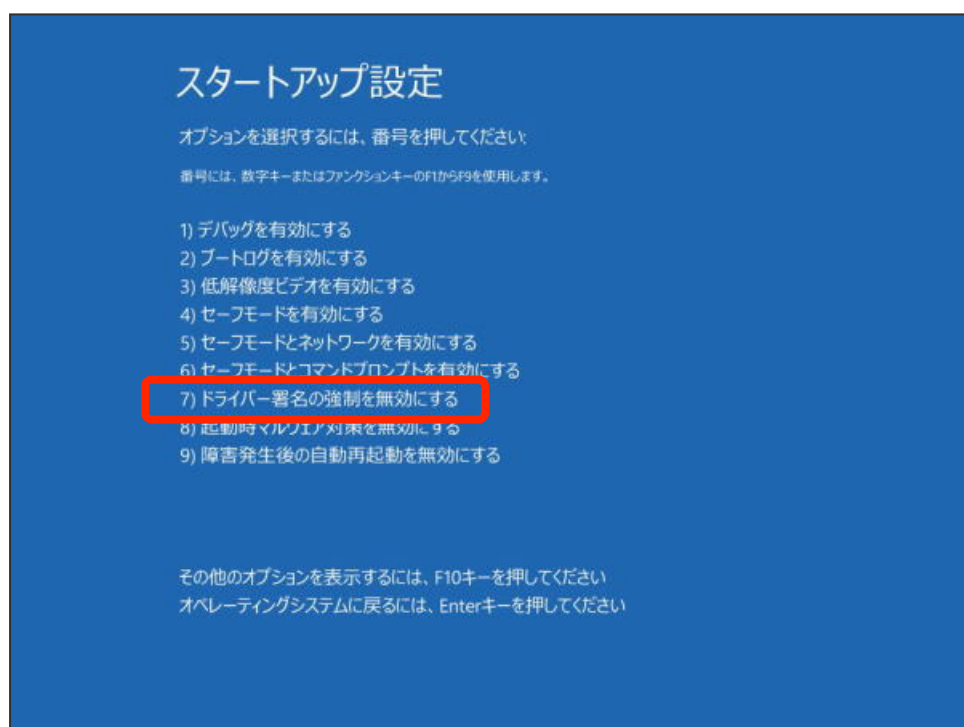
(1)チャームから「設定」→「PC 設定の変更」→「全般」タブにある「PC の起動をカスタマイズする」項目の「今すぐ再起動する」を選択します。



(2) "トラブルシューティング"→"詳細オプション"→"スタートアップの設定"画面で"再起動"します。

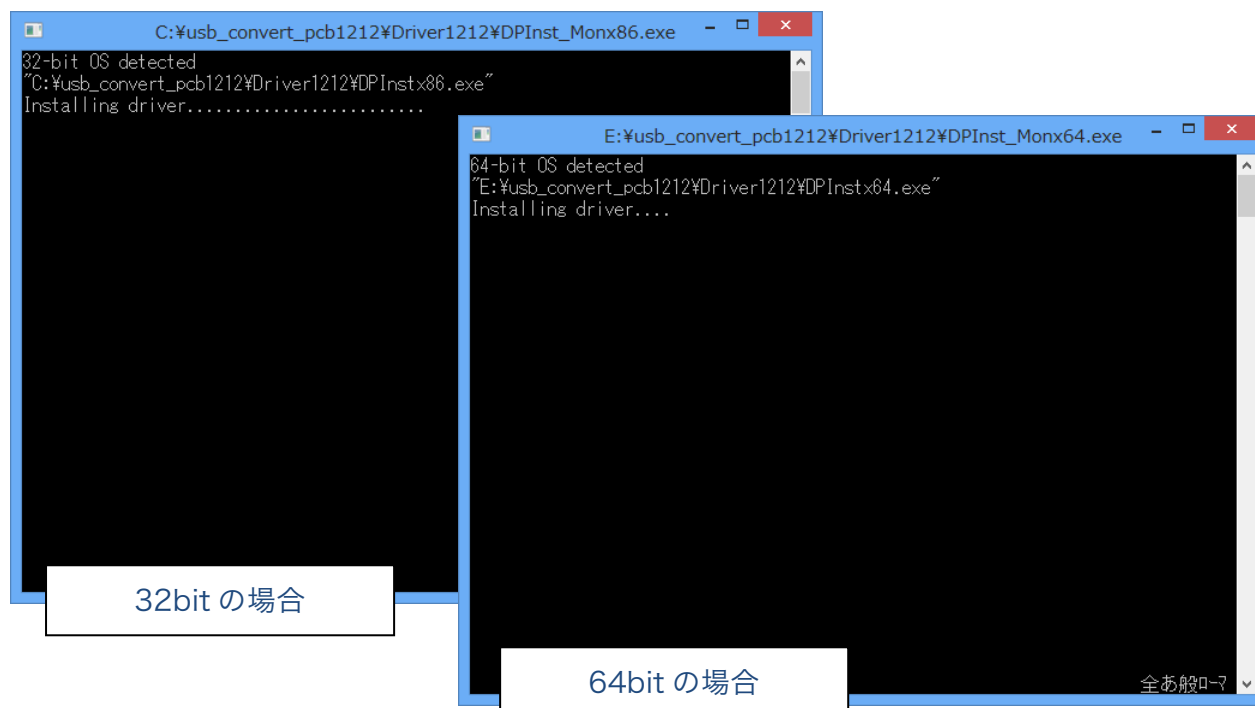


(3) スタートアップ設定画面が表示されたら数字の"7"か"F7 キー"で、"7) ドライバー署名の強制を無効にする"を選択します。

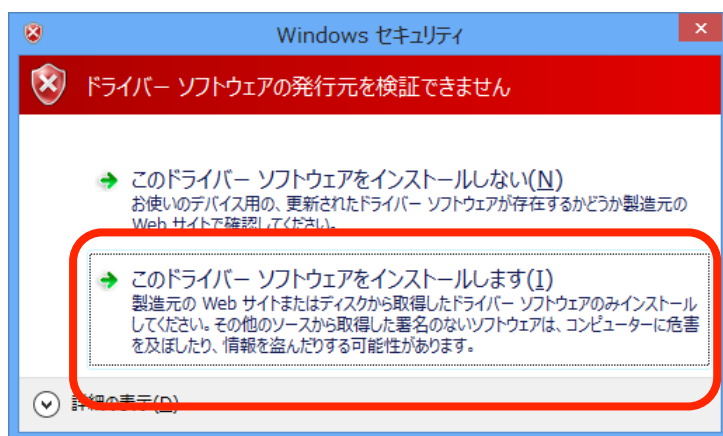


3-2.”usb\_convert\_pcb1212”フォルダ内の”USB\_Driver\_Installer”(バッチファイル)を実行してください。  
# ご利用の環境が 32bit か 64bit かを判別し、適したドライバーをインストールします。

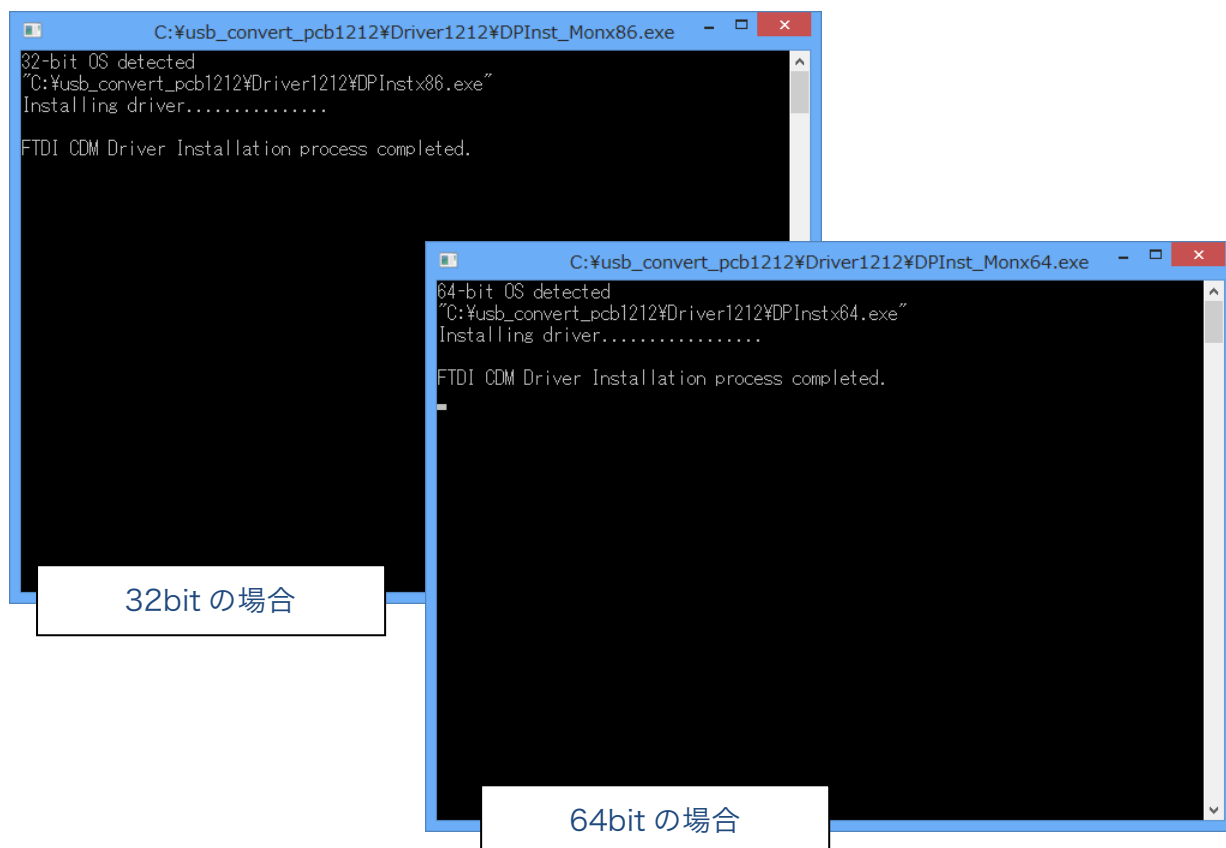
3-3.インストールが開始されると以下のようなコマンドプロンプト画面が表示されます。



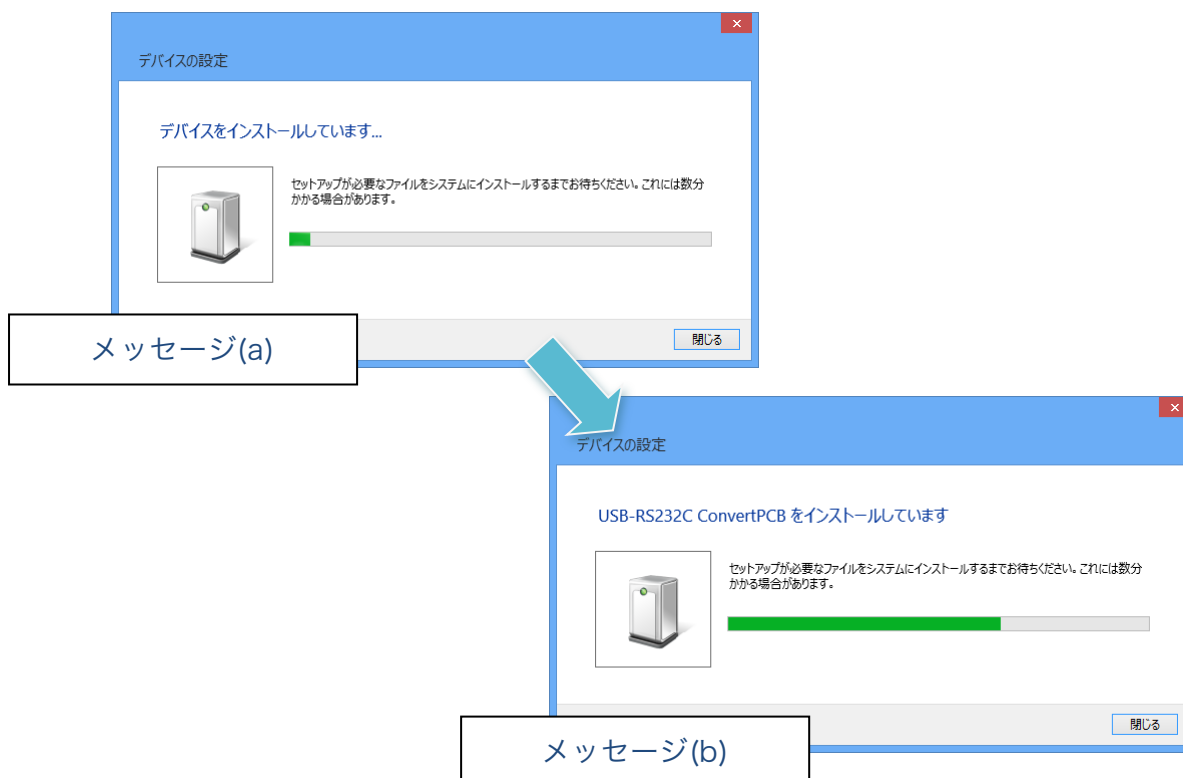
3-4.インストール中に Windows セキュリティ確認画面が 2 回表示されます。  
このとき、“このドライバーソフトウェアをインストールします”を選択します。



3-5.インストールが終了すると以下のようなコマンドプロンプト画面が数秒間表示されます。  
(コマンドプロンプト画面は数秒後、自動的に閉じます)



3-6.USB-RS232C 変換基板を接続するとタスクバーにインストール中であることが表示され、しばらくすると(a)→(b)へメッセージが変化します。  
(デフォルトでは最小化された状態で表示されます。また、メッセージは自動的に閉じます)



### 3-7.インストール完了の確認

デバイスマネージャーを開き、

- 1).“ポート (COM と LPT)” に USB-RS232C ConvertPCB(COMxx)
- 2).“ユニバーサル シリアル バス コントローラー” に USB-RS232C ConvertPCB

※xx の部分は COM ポート番号(お使いの環境によって変わります)  
が追加されていればインストール完了です。

